

玉樹だより

Tamaki Dayori

2020
あき号
Vol.52



ご挨拶
Greetings



社会福祉法人 絢会

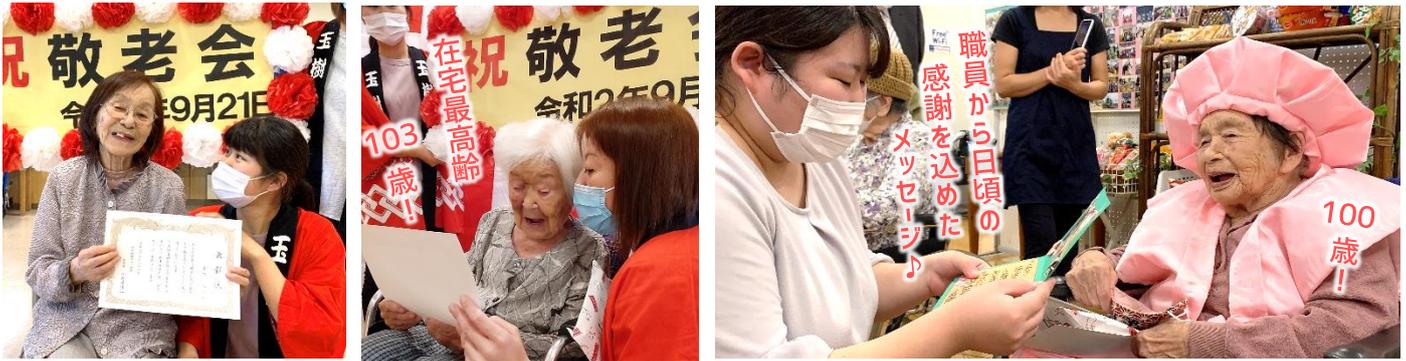
【玉樹×地域福祉=つむぎプロジェクト】がいよいよ始動しました。

玉樹の理念でもあり一番大切にしていること「普通に暮らす幸せ」。簡単そうに感じますが今の地域を見てみると、コロナ禍によりさらに実現が難しくなっているように思います。地域の声に耳を傾けてみると、「買い物に行きたいのに行けない」「話したいのに相手がない」などの声が増えてきています。普通にできそうなことができずに、諦めてしまっている人がたくさんいます。

なぜこのようなことが起きるのか。その原因は、人口減少、少子化、高齢化、核家族化など様々な問題が重なり、人のつながりが薄くなったことで「一人ぼっち」の人が増えているからだと言われています。しかし、地域の声をよく聞いてみると「〇〇したい！のにできない」という声ばかりではなく、「助けたい！できるよ！」という声も沢山あるのです。私たちは、人と人とのつながりを紡いでいくことで、人がいつまでもいきいきと安心して暮らせる地域にしたいと思っています。

だから『つむぎプロジェクト』を始めました。「〇〇したい！のにできない」という人と「助けたい！できるよ！」という人を繋げて、「〇〇したい！」を叶えたいと思っています。まずは私たちの得意なこと、高齢者のサポートから始めていきます。現在の高齢者の暮らしは、未来の自分の暮らしであり、誰にでも当てはまる“自分ごと”だからです。

誰もが普通に暮らせささやかな幸せを感じられる社会をあなたと一緒に作っていきたくております。是非みなさんの力を玉樹に届けてください。ご協力お願いいたします。



コロナ禍で例年のようにご家族に参加していただくことはできず残念でしたが、ご家族から差し入れやお祝いのプレゼントを届けていただき、皆さんとても嬉しそうでした。



オンライン面会はじめました。

【ブース面会】 ご家族が玉樹に来所。
1階の専用スペースからテレビ電話ができます。



【Zoom面会】 ご家族のカメラ付き端末（スマートフォン等）から利用でき、場所を問いません。



コロナウィルス対策で面会を控えていただく期間が長くなるにつれ、ご利用者やご家族の「会えない不安・心配」が募る状況を少しでも解消できればとオンライン面会を実施しています。

対面で会えなくても、顔を見ながら会話ができることでお互い思わずニコニコとされ嬉しそうです。ご家族からは「元気そうでよかった!」「顔を少し見られただけでも安心するね。」との声をいただいております。現在は、11月4日より面会が緩和され、感染対策をしていただいた上で、玉樹1階専用スペースで“対面”での面会ができるようになりました。オンライン面会も継続中です。

今後もコロナの状況やご利用者の体調を考慮した上で、少しでも安心していただけるよう面会方法の検討をさせていただきたいと思っておりますので、引き続きご協力よろしくお願い致します。

テーマ型募金に取り組みます！



テーマ型募金は、地域の課題解決のために頑張る団体を応援するために、茨城県共同募金会が募金活動と一緒に取り組んでくれる事業です。玉樹でも申請が認められ、令和3年1月～3月まで募金活動を行うことになりました。

集まった募金は、令和3年度の【ウキウキショッピングバスの運営と支援体制の整備】に使われます。公共交通機関が不足している八千代町では、これから買い物支援の活動は欠かせないものになってきます。この活動を持続的な地域福祉サービスにするためには、お手伝いしてくれる仲間（ボランティアさん等）と活動資金が必要です。是非、募金活動を通じて皆様からの温かいご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



ウキウキショッピングバス

八千代町内在住の65歳以上の方を対象に2016年から続けている玉樹の買い物支援です。延べ324人が利用しています。

<八千代町の課題>
60歳以上の約1200人がサポートがないと買い物に行けない現状です。

※経済産業省：2016年買い物弱者に関する報告書を八千代町の60歳以上の数に当てはめた推計値

文：染野 ユミ

2020.9.28



ザ★新米
おにぎり



食のイベントといえば施設全体でみんなでワイワイ食べるのも醍醐味♪でも、今年はコロナ対策で各部署開催。制限がある中でも、皆さんに楽しんでいただきたいと職員一同工夫しながら楽しみ作りを継続しています。





ミニチキチキ大作戦



例年であれば月に1度、様々な企画を立て“みんなで一緒に楽しむ”チキチキ大作戦。コロナウィルスの面会制限により、ご家族と会えない、外出が出来ないなど普通の暮らしが「制限」されている状況が続いています。チキチキ大作戦も例外ではありません。人数制限などの感染対策をしながら「ミニ」チキチキ大作戦として継続しています。

作品作り♪

コロナで町の作品展が中止になってしまったので、11/16～11/30【秋の展覧会in玉樹】を開催します♪



さつまいもほり♪



八千代町のご当地問題やコロナ問題など出題！僅差を争う激戦！

ジェスチャーゲーム♪



クイズ王選手権♪



まんじゅう作り♪



今後コロナの状況に合わせて形を変えながらも、お年寄りと一緒に楽しんでいきたいと思ひます。そして、チキチキ大作戦を、お年寄りも職員も「あはははは！」と大きな声で笑ったり、お互いの良い所を発見して、もっと好きになっちゃったりする場所…お年寄りが『きらり』と光る瞬間を見つけ、それが暮らしの楽しみや目標に繋がる場所にしていければと思ひます。



心が動くキッカケ～魔法のような言葉～

ショートステイを利用されているフミさん。お話することが大好きで、自分で出来ることは何でもやる！という気持ちを持った心の強い方です。

そんなフミさんが左手を思うように動かせなくなってしまい、今まで自分でしていたことが出来なくなってしまいました。自分で立ち上がることも難しく、トイレに行くこともままならない状態に…。活気もなくなり、大好きなおしゃべりをする姿も少なくなっていました。気持ちも落ち込み食欲がなく、利き手の右手は動くはずなのですが、食事職員が介助する日々が続きました。

そんな様子を見ていたタマさんが言いました。

【フミさんは利き手が動くのになんで使わないの？私は利き手が動かないけれど、反対の手で自分で食べられるよ！】と……。この言葉が魔法のようにフミさんに力を与えてくれたのです。



タマさんが投げかけた言葉が、『自分で出来ることはやりたい！』というフミさんらしい強い気持ちを取り戻すキッカケになったようで、食事職員も自分で召し上がるようになりました。

食事を摂れるようになったことで体力も回復して自信がつき、短い時間ですが立つことが出来るようになり、トイレにも行けるようになったのです。



また、ショートステイの利用が増えると「家族はどうしているかな？」と心細くなってしまいう日もありました。ちょうどその頃、玉樹の在宅部署では、「家族と情報共有できる」ケアコラボというシステムを導入した時期でした。ケアコラボは、玉樹で過ごすご利用者の様子（写真やケア記録）を、いつでもどこでもご家族のスマートフォン等で見る事ができ、コメントも投稿できるシステムです。離れていてもケアコラボに投稿して下さったご家族のコメントを伝えることで、想いが伝わりフミさんの安心に繋がっています。

私たち職員も、ケアコラボを通じてご家族とのコミュニケーションが増え、ご家族を身近に感じ、以前より深い関わりが出来るようになったと感じています。

これからも、フミさんやご家族が安心してショートステイを利用していただけられるように、そして“フミさんらしく”過ごしていただけるよう関わらせていただきたいと思います。

お婆ちゃんの様子
が分かって安心





玉樹に来て元気になったよ！

ハナさん（仮名）は9月から新しくデイサービス玉樹の仲間入りをしてくださいました。

ある日、浴室からリビングへ戻る道すがらの会話でした。

「私ね～玉樹に来るようになってから元気になってね～。ごはんも食べられるし、歩けるようになったしね～楽しいんだよ！」と明るく大きな声で話をしてくださいました。自信に満ちた笑顔がとても印象的でした。

利用当初は他ご利用者との会話も少なく、職員にも遠慮されていて、ハナさんの「想い」を上手く汲み取ることが難しかった記憶があります。表情も不安気で下を向いているハナさんの印象が強く残っています。



不安…

しばらくしたある日のこと。

ハナさんが座るテーブルから「すごいな～！（塗り絵）うまいこと色付けするもんだな～」とご利用者の声が聞こえました。その場に行ってみる「そんなことないよ、下手で恥ずかしいよ。」と顔を真っ赤にして照れ笑いをされているハナさん。他ご利用者の方達ものぞき見して「あら～ほんとは。きれいだね！」と次々に声を掛けていました。



スゴイ！

上手♪

皆さんのほほ笑みが温かく、ハナさんの心も少し和んだのではないかとその時感じました。

その日を境に『ハナさんが変身した！』気がします。

何事にも積極的に前向きに取り組む姿が見られるようになりました。

もちろん【自信満々の笑顔】です。



前向き♪

変身♡

そんな折、ご自宅にてハナさんのケアの内容を検討するサービス担当者会議が開催されました。その際、「いや～デイサービスってすごいな。うちの婆ちゃんの変わり様には感心するよ。」と息子様。お嫁様からは「今まで着替える時は、ズボン、靴下はお手伝いしないとダメだったし、靴も一人で履くことができなかつたんですよ。今では身支度は全部自分で出来るし、靴を履いて玄関土間にある階段を一人で降りて外に出て、デイサービスの車を待っているんですよ」と。

そして先日。ハナさんから相談がありました。「私ね、ひとりで歩きたいんだよ。今はシルバーカーと一緒にだけどね。できるかな？練習付き合ってくれる？」と。極上の【自信満々の笑顔】でした。

ハナさん。ますます元気な90歳を迎えましょうね！



ひとりで歩きたい！



デイサービス玉樹では、ご利用者の「まだまだ出来る」を応援し、関わりを作っています。一人ひとりの想いを引き出し、「出来ること」が増えることで「自信」を取り戻し心と体が「元気」になっていくような取り組みに力を入れていきたいと思ひます。





振り返りと学びの大切さ

今年度じゅげむでは、スキルアップを目指し勉強会を行っています。
在宅部署が合同で行う勉強会にも参加しており、月に1度は学びの機会を作っています。

在宅部署の合同勉強会では、「食事・入浴・排泄・移乗・接遇」の『基礎』を振り返っています。
例えば・・・



「食事はおいしく」
料理の彩りや量に合った器を使用する。自分のペースで食べられるよう同じテーブルの方が食べ終わってから片付ける。



「排泄はスッキリ」
体の仕組みや排泄の原理を理解する。恥ずかしい想いをさせないよう「トイレ」「オムツ交換」など直接的な言葉を避ける。



「入浴はサッパリ」
お誘いから入浴後の水分補給まで一人の職員が関わる。(マンツマン入浴) 一人ひとり湯を汲み替え、浴槽や床を掃除する。



「移乗は力任せのクレーン禁止」
残存能力を活かし出来ない部分をサポートする。移乗後、痛みの有無の確認、「ありがとう」と感謝の言葉かけをする。

基礎の振り返り

勉強会に参加することで、ケアの基本やポイント、玉樹として大切にしている関わり方ができていなかったと反省する部分もあり、現状を振り返る良いきっかけとなっています。

また、じゅげむ内の勉強会では、『病気』を中心に学んでいます。
高次機能障害や統合失調症など、じゅげむご利用者の病気についてです。どんな病気なのか？症状は？どのような関わり方をしたら良いのか？など基礎知識を学びます。



実際のご利用者の『現状』と照らし合わせながらみんな意見を出し合うことは、現在の対応の振り返りができると同時に、職員同士の想いを共有した上で関わり方を決められるので重要です。

なぜなら、ケアは一人で行うことは難しく、チームでご利用者を支えています。同じご利用者との関わりでも、職員それぞれ感じることや気づくことが違う事もあって当然です。でも、ご利用者に対して「こんな風に過ごしてほしい!」「こんなことが出来たら素敵。」という想いは一つにしている事が大切だと思っています。

これからも、ケアの基礎を振り返り、病気について学ぶことで、きちんとお年寄りと向き合い、安心して穏やかに過ごしていただけるよう関わらせていただきたいと思います。



チーム全体でレベルアップ

今年度の居宅内研修は、『一人で成長するのではなく、みんな一緒に成長しよう!』ということで、ケアマネジャーとデイサービスやショートステイの生活相談員と一緒に学ぶ合同研修という形で行っています。

同じ法人内に居宅介護支援事業所と在宅サービス事業所(デイサービス、ショートステイ)がある玉樹だからこそできる学びの場です。

多職種連携が必要になる在宅支援は、ケアマネジャーだけが成長しても、ご利用者やご家族をきちんとサポートすることはできません。ケアマネジャーとの連携が必要不可欠な生活相談員も一緒に学び成長することで、在宅チーム全体のレベルアップに繋がっていきたいと思っています。

ケアマネジャーと生活相談員。立場は違っても、ご利用者を想う気持ちは一緒です。みんなで成長し、玉樹在宅チームとして、ご利用者やご家族が【安心して任せることができるチーム作り】をしていきたいと思ひます。

ケアマネジャーと生活相談員が
一緒に学び、それぞれの
視点から意見交換♪



在宅チーム全体で成長!

合同研修会 ～ 心の支えになるために ～



講師：ケアショップあおぞら 張替さん

10月16日、八千代町内のケアマネジャー、地域包括支援センターの方と合同研修会を開催し、怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング「アンガーマネジメント」を学びました。

ケアマネジャーとしてご利用者やご家族と関わらせていただく中、悩みを聞く事も多々あります。

怒りの仕組みを学び、相手の怒りを理解し共感する力が身につけば、少しでもご利用者やご家族の『心の支え』となる事に繋がるのではないかと感じました。

文：谷貝 智代

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております。

発行：社会福祉法人 絢会 発行責任者：吉川 秀貴

撮影・編集：絢会の仲間たち&佐藤あすか

〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 1021-1

TEL 0296-49-3886 FAX 0296-49-2987

Mail info@tamaki.or.jp

<絢会の事業所一覧>

- ・特別養護老人ホーム 玉樹
- ・ショートステイ 玉樹
- ・デイサービスセンター玉樹
- ・デイサービスセンターじゅげむ
- ・居宅介護支援事業所 玉樹

